

古川北華 ほくわいは 畫家、美術評論家。明治十六年新潟縣生れ（一八三一）。  
 本名修策、通稱修（脩）。別號北華散人、北華散史、北華散士、幽夢  
 庵、清籟居、琴書齋、白雪堂、虛籟庵。明治四十二年早稻田大學文  
 學部英文科卒。初め美術評論家として活躍、藝術社を興す。のち日本  
 南書院客員となり、橋本關雪等と幽篋會を組織。  
 著書 『南畫論萃』（古川脩名、再版・昭和十九年四月、二一〇頁地主社）、  
 『狩野芳崖』（昭和二十年五月、二〇〇頁元々社「民族教養新書」）、『雲  
 煙集』（昭和二十二年五月、二五五頁自刊）、『青海集』（古川脩名、  
 昭和二十五年十月十日自刊）等。

